

本稿は、バークレイズ・ピーエルシー(Barclays PLC)が2012年2月10日に発表した2011年度決算報告書の日本語抄訳です。その正確な内容については、原文である英文リリースをご参照ください。本稿と英文リリースとの間で齟齬がある場合には英文リリースが優先します。なお、英文リリースは、以下のリンクよりご覧いただけます。

<http://group.barclays.com/Investor-Relations/Financial-results-and-publications/Results-announcements>

Barclays PLC Results Announcement

31st December 2011

バークレイズ・ピーエルシー
2011年度決算報告書
2012年2月10日発表

企業市民として - 業績ハイライト

パークレイズは、明確な事業目的を持っています。それは個人、企業、そして経済の発展と成長を促すことです。この目的遂行に向けて、事業を展開する中で実行すべき優先事項として掲げる4項目の1つに、「よき企業市民として」という項目を置いています。そして、これについては以下の具体的な3分野を挙げ、進捗状況を注視しています。

- **実体経済の成長への貢献** - パークレイズ・グループは、個人、企業、機関及び政府における目標の追求を手助けすることに焦点を当てながら、強固で収益性の高いビジネスを展開し経済成長と雇用創出を支えています。
- **業務のあり方** - パークレイズ・グループでは常にお客様の利益を中心に据えています。当グループは日々、「提供するサービスの改善努力を重ねる」、「経営を進める中で責任ある決定を下す」、「当グループの行為が社会や環境に与える影響を機動的に管理する」といったことを通じ、事業の健全性を強化しています。
- **地域社会の支援** - パークレイズ・グループでは、日々の生活と就業の場である地域社会で、中核事業の展開による貢献にとどまらない広範な役割を果たしています。具体的には、地域社会への投資プログラムや従業員による地域社会への直接的な貢献活動を通じて行っています。

実体経済の成長への貢献

- 英国企業向け新規貸付総額は中小企業向けの 147 億ポンドを含め、436 億ポンドに達し、「プロジェクト・マーリン」の目標を上回りました。
- 英国の民間非金融企業向け貸付は前年比で 3%以上増加しました。これに対し、業界全体の純貸付残高は前年比で 5%減となりました。
- 108,000 件の起業と、既存企業 1,900 社の経営健全化を支援しました。
- 英国の地域社会で 800 件以上のセミナーを開催し、14,000 人以上の参加者にビジネスに関する助言や支援を提供しました。
- 中小企業の成長資金の確保を支援すべく、英国の銀行 5 行が創設した総額 25 億ポンドの企業成長基金 (Business Growth Fund) に最大 5 億ポンドを投資することに同意しました。
- 英国のインフラ投資資金を賄う 5 億ポンドの融資基金と英国の農家向けの 1 億ポンドの再生可能エネルギー・ファンドを立ち上げました。
- 世界の企業に 2,300 億ポンドを上回る与信枠を提供しました。
- 政府及び公的機関向けの 3,880 億ドルを含め、機関向けに 1 兆ドル以上の資金を調達しました。
- 初めて住宅を購入した 10,000 人を含め、100 万人近くの住宅保有者を支援しました。また、500 万枚以上のクレジットカードと 270 万枚の非接触型デビットカードを発行しました。
- 世界で 141,100 人を雇用しました。

業務のあり方

- 英国における銀行業務に関する苦情 (支払保障保険に関連するものを除く) は 2010 年と比較し 30%減少しました。
- 英国リテール・アンド・ビジネス・バンキングの顧客満足度ランキングで 2007 年の 11 位から 4 位に上昇しました。
- 株主に支払った配当金は前年比 24%増の 6 億 6,000 万ポンドとなりました。英国での 29 億ポンドを含め、世界全体で (直接、間接を含め) 64 億ポンドの税金を支払いました。

地域社会の支援

- 世界の地域社会支援活動に、前年比 15%増の 6,300 万ポンドを投資しました。
- 主に起業、雇用、資産運用に関わる技能育成を通じ、200 万人以上を支援しました。そのうちの 3,500 人以上には各種プログラムを通じて就職を支援しました。
- 地域社会の恵まれない人々を支援する従業員 73,000 人を、時間・技能・資金の面から支援しました。こうした従業員の数は 2010 年に比べて 20%増加しました。
- 英国の支店と営業拠点で合わせて 1,000 人の実習生受け入れに取り組みました。
- 英国政府が社会的金融セクターの拡大を促すために創設した「Big Society Capital」に 5,000 万ポンドを拠出しました。
- 英国のフリースクール及び学術機関への無料の銀行サービス、ビジネス技能訓練、就労体験、起業助成金の提供に取り組みました。

財務 - 業績ハイライト

「パークレイズで働くスタッフそれぞれが 2011 年に達成したことを誇らしく思います。経済及び市場の環境は厳しいものでしたが、当グループでは実体経済並びに株主の皆様、従業員及び当グループが事業展開する地域社会のニーズを支えながら、お客様に対して最大限の配慮を行うというパークレイズの方針を堅持いたしました。この結果、当グループは財務面でも、実行すべき優先事項の面においても、力強い業績を達成することができました。

ユニバーサル・バンキング・モデルは引き続きパークレイズの競争力となっています。営業収益は顧客営業基盤の強さとバランスの取れた事業構成を反映し、全体的に底堅さを維持しました。実行すべき優先事項に取り組むにあたり、基礎となる成長分野への選択的な投資を進める一方で、コスト規律を強化しました。当グループは 2011 年の株主資本利益率の水準には満足しておらず、今後、この着実な改善に全力を挙げて取り組む方針です。パークレイズの盤石な資本基盤、流動性、資金調達ポジションがこの先直面する経済や規制面の難問に対処する上での、柔軟性と自信の源泉となっています。

これらの結果は、当グループのすべてのステークホルダーに長期的価値を持続的に提供し、かつ優先事項を実行していくというパークレイズの手腕のさらなる証であると考えております。」

グループ最高責任者、ポプ・ダイヤモンド

当グループの業績	2011年12月31日 に終了した年度 (百万ポンド)	2010年12月31日 に終了した年度 (百万ポンド)	増減率(%)
収益合計(当グループ自身の信用度及び債務買戻しに係る影響を除く)	28,454	31,049	(8)
当グループ自身の信用度に関連する利益	2,708	391	
債務買戻しに係る利益	1,130	-	
保険金控除後の収益合計	32,292	31,440	3
信用に関する減損費用及びその他の引当金繰入額	(3,802)	(5,672)	(33)
ブラックロック社への投資に関する減損	(1,800)	-	
営業収益純額	26,690	25,768	4
営業費用(支払保障保険に関する補償引当金、のれんの減損、英国銀行税を除く)	(18,855)	(19,728)	(4)
支払保障保険に関する補償引当金	(1,000)	-	
のれんの減損 ¹	(597)	(243)	
英国銀行税	(325)	-	
営業費用合計	(20,777)	(19,971)	4
関連会社及び合併会社の税引後損益に対する持分	60	58	
買収及び売却に係る(損失)/利益	(94)	210	
税引前利益	5,879	6,065	(3)
調整後税引前利益²	5,590	5,707	(2)
税引後利益	3,951	4,549	(13)
基本的1株当たり利益	25.1p	30.4p	(17)
1株当たり配当金	6.0p	5.5p	9

資本及び貸借対照表

コア Tier1 比率	11.0%	10.8%	
リスク調整後資産	3,910 億ポンド	3,980 億ポンド	(2)
調整後グロス・レバレッジ	20x	20x	-
グループ余剰流動性	1,520 億ポンド	1,540 億ポンド	(1)
1株当たり正味有形資産価額	391 ペンス	346 ペンス	13
グループ貸付金・預り金比率	118%	124%	

パフォーマンス指標²

平均株主資本利益率	5.8%	7.2%
平均有形株主資本利益率	6.9%	8.7%
収益に対する費用の比率	64%	64%
調整後平均株主資本利益率	6.6%	6.8%
調整後平均有形株主資本利益率	7.9%	8.2%
収益に対する費用の調整後比率	67%	64%

注記

- 当期は、スペイン(5億5,000万ポンド)、ファースト・プラス(4,700万ポンド)ののれんの減損に伴い、のれんの減損は調整後税引前利益からは除外されている。なお前期の調整後税引前利益については、パークレイズ・バンク・ロシアの2億4,300万ポンドに上るのれんの減損を除外するように修正されている。
- 調整後のパフォーマンス指標及び税引前利益については、以下による影響分を除外している: グループ自身の信用度に関連する利益27億800万ポンド(2010年は3億9,100万ポンド)、債務買戻しに係る利益11億3,000万ポンド(2010年はゼロ)(バーゼル3下でのTier1不適格の資本を除却)、ブラックロック社への当グループの戦略的投資の一部売却に係る損失の投資収益への振替5,800万ポンド(2010年はゼロ)、ブラックロック社への投資に関する減損18億ポンド(2010年はゼロ)、支払保障保険に関する補償引当金10億ポンド(2010年はゼロ)、のれんの減損5億9,700万ポンド(2010年は2億4,300万ポンド)、買収及び売却に係る損失9,400万ポンド(2010年は2億1,000万ポンドの利益)。英国銀行税については、調整対象には含まれていない。

財務 - 業績ハイライト

- 保険金控除後の収益合計は 3%増の 322 億 9,200 万ポンドでした。当グループの信用度に関連する損益及び債務買戻しの影響を除いた収益は 8%減でした。
- 税引前利益は 3%減の 58 億 7,900 万ポンドでした。調整後税引前利益は 2%減の 55 億 9,000 万ポンドでした。
- 信用に関する減損費用は 38 億 200 万ポンドと 33%減少し、年率貸倒比率は 77 ベーシスポイントとなりました (2010 年:118 ベーシスポイント)。
- 支払保障保険(PPI)の引当金、のれんの減損、英国銀行税を除いた営業費用は 4%減の 188 億 5,500 万ポンドでした。コスト削減は目標を上回りました。
- グループ全体の 2011 年の報奨総額は税引前利益の 3%減に対して 26%減少しました。パークレイズ・キャピタルでは、税引前利益が前年比 32%減だったのに対して報奨総額は同 35%減少しました。
- コア Tier1 比率は自己資本指令第 3 弾(CRD3)の影響をよそに 11.0%(2010 年:10.8%)に上昇し、リスク調整後資産は 3,910 億ポンド(2010 年:3,980 億ポンド)に減少しました。
- 余剰流動性は 1,520 億ポンドと高水準を維持しました(2010 年:1,540 億ポンド)。
- 1 株当たり純資産価額は 456 ペンスと 9%増加しました。1 株当たり正味有形資産価額は 391 ペンスと 13%増加しました。
- ユニバーサル・バンキング・モデルの効果により、調整後税引前利益の構成はリテール・バンキング部門とインベストメント・バンキング部門の間で概ねバランスの取れたものになりました。
- スペイン、イタリア、ポルトガル、アイルランド、ギリシャに対するソブリン・エクスポージャーは 71 億ポンドに減少しました (2010 年:82 億ポンド)。
- 第 4 四半期の最終配当金は 1 株当たり 3.0 ペンスで、年間配当金は 6.0 ペンスと 9%増加しました。

部門別税引前利益	調整後			法定		
	31.12.11	31.12.10	増減率(%)	31.12.11	31.12.10	増減率(%)
	百万ポンド	百万ポンド		百万ポンド	百万ポンド	
英国	1,420	889	60	1,020	989	3
欧州	(234)	(168)	39	(661)	(139)	
アフリカ	908	723	26	910	804	13
パークレイカード	1,208	791	53	561	791	(29)
リテール・アンド・ビジネス・バンキング	3,302	2,235	48	1,830	2,445	(25)
パークレイズ・キャピタル ¹	2,965	4,389	(32)	2,965	4,389	(32)
パークレイズ・コーポレート ²	126	(388)	nm	(70)	(631)	(89)
コーポレート・アンド・インベストメント・バンキング	3,091	4,001	(23)	2,895	3,758	(23)
パークレイズ・ウェルス	207	163	27	207	163	27
インベストメント・マネジメント	96	67	43	(1,762)	67	
本社機能及びその他事業 ¹	(1,106)	(759)	46	2,709	(368)	
グループ税引前利益²	5,590	5,707	(2)	5,879	6,065	(3)

¹ 法定税引前利益は、当グループ自身の信用度に関連する利益 27 億 800 万ポンド(2010 年:3 億 9,100 万ポンド)の計上先を従来のパークレイズ・キャピタルから本社機能及びその他事業に移したことを反映させた改定値です。詳細につきましては原文 20 ページをご参照下さい。

² 2010 年の調整後税引前利益はパークレイズ・コーポレートのロシアにおけるのれんの減損費用 2 億 4,300 万ポンドを除外した改定値です。

2011年業績の概要

パークレイズは2011年、経済、市場、規制の各面で厳しい環境にある中、堅調な業績を上げることができました。それは実体経済の成長を支え続けることで達成したものです。ユニバーサル・バンキング・モデルの効果により、大多数の部門で利益が伸び、調整後税引前利益は56億ポンドとなりました。お客様を徹底して重視するというパークレイズの真摯な姿勢があってこそこのような結果が得られており、それにより当社が重視するすべての事業分野で業界におけるポジションを高めることができました。

現在の環境を取り巻く多くの不透明な要因に鑑み、当グループでは資本力、株主資本利益率、収益成長及び企業市民活動という4つの執行上の優先事項に引き続き注力しています。

こうした取り組みの礎として、規律あるコスト管理があります。2011年のグループ調整後営業費用は前年比で5億ポンド以上減少しました。これまでの成果を踏まえ、英国の銀行税の影響を除いたパフォーマンスコスト以外のコストの2013年までの削減目標を20億ポンドに引き上げました。

業務効率の向上に加えて、グループの業績を反映する成功報酬総額をパークレイズ・グループ全体で26%削減しました。これは、株主及び広範な経済環境に対して当社が負う責任と、お客様に最良のサービスを提供すべく常に最高の人材を確保し競争力を維持するという必要性とのバランスを適切に取ったものです。

こうした2011年のグループの業績を補完してきたのは、私たちの日々の生活と就業の場である地域社会で、パークレイズへの信頼を高めるために展開してきた継続的な取り組みと実体経済への貢献です。パークレイズが2011年に英国で行った具体的な取り組みの一つに、10万件以上の起業支援と「プロジェクト・マーリン」における目標を上回る貸出の実行が挙げられます。パークレイズはこのような形で300年以上にわたって英国経済を支えてきました。パークレイズはお客様をサポートするために最大限の取り組みを今後も重ねる所存です。そして、その結果として当社の貸出は拡大していくものと期待しています。当グループはこの分野においてリーダーであり続けたいと考えます。

1. 資本、資金調達、流動性

盤石な資本基盤、資金調達、流動性は当社の戦略の屋台骨で、お客様にとっては安定の源泉であり、また、競合他社と比べて当社の強みであることに変わりはありません。

- コア Tier1 比率は 11.0%と高水準を維持しています。リスク調整後資産の厳しい管理が奏功し、クレジット市場へのエクスポージャーは大幅に減少し、資本効率が改善しました。これにマーケット取引の水準低下の影響も加わり、CRD3 の影響を十二分に相殺できました。
- 業界では資金調達難の問題が浮上しましたが、当グループは 2011 年の通年で強固な流動性ポジションを維持しました。当グループの債券発行における商品、満期、通貨の多様性が示すように、当グループでは世界の様々な資金調達源を活用し続けています。
- 1,520 億ポンドに上る余剰流動性は優良資産で構成されており、その 90%以上は中央銀行預け金と流動性の高い国債から成ります。

2. リターン

パークレイズ・グループは進化し続けています。パークレイズのユニバーサル・バンキング・モデルの強さが奏功し、リテール・アンド・ビジネス・バンキング部門とコーポレート・アンド・インベストメント・バンキング部門の間でバランスの取れた利益構成を実現することができました。リターン達成の重視は当社の事業のあり方に関わる重要な要素の1つです。

- 世界有数の規模を誇る英国リテール・アンド・ビジネス・バンキング部門とパークレイカードの 2011 年の調整後株主資本利益率はそれぞれ 14.9%、17.4%に上昇しました。
- パークレイズ・キャピタルでは厳しい市場環境と CRD3 の影響により株主資本利益率は 10.4%に低下しました。しかしながら現状に甘んじることなく、与えられた経済及び規制環境の中で事業を発展させていく考えです。顧客営業基盤とスケール・メリットが働く事業基盤を支えに、目標リターンを達成させられると確信しております。
- アフリカでは 2011 年にグループ利益の 20%以上に相当する約 13 億ポンドの利益を上げました。アフリカのリテール・アンド・ビジネス・バンキング部門の株主資本利益率は 10.0%に改善しました。
- パークレイズ・ウェルスの投資計画は順調に進展しています。パークレイズ・グループでは、高収益事業であるパークレイズ・ウェルスの拡大を図り続けており、同部門の株主資本利益率は 10.9%に改善しました。

グループ最高責任者によるレビュー

- バークレイズ・コーポレートは 2011 年に調整項目を除いたベースで黒字に転換し、利益を計上しました。当事業部門は引き続き事業の改善に取り組んでおり、2011 年に業績の低下が見られたスペインにおいて大規模な事業再編を実施しました。
- 調整後平均株主資本利益率は 6.6% (2010 年は 6.8%) と、2013 年の目標水準である 13% を下回りました。新金融規制による制約があることに加え、目標設定以来、マクロ経済の状況が予想以上に悪化していることから、2013 年までに 13% のリターンを達成することは困難な可能性があります。しかし、当グループは引き続き業績改善、資本規律の遵守、資金調達コストの管理、支出削減、収益成長に注力し、13% の目標達成に向けて着実なリターンの改善を目指してまいります。
- リターンの改善を目指す上で重要な方法の一つにコスト効率性の向上が挙げられます。当事業部門は 2011 年の初めに、パフォーマンス・コスト以外のコストベースの平均値を 2013 年までに年間 10 億ポンド削減する計画を発表しました。2011 年には、業務全般の効率性を高めることにより、グループの営業費用を 5 億ポンド以上削減させました。当グループは引き続きコストベースの削減に取り組んでおり、現時点では 2013 年の削減目標を 20 億ポンドにまで引き上げています。

3. 収益成長

リターンの改善計画を成すもう一つの方法は収益の成長です。

- マクロ環境の悪化により収益成長は影響を受けましたが、すべての主要事業が競争力を強化し、成長の勢いは増しました。マクロ環境の影響が最も深刻だったバークレイズ・キャピタルを除き、全事業で営業収益純益が増加しました。
 - 英国リテール・アンド・ビジネス・バンキング: 住宅ローン及び個人貯蓄に支えられて収益 11% 増加しました。
 - バークレイカード: 顧客残高の緩やかな増加を主因に収益が 21% 増加しました。
 - アフリカ・リテール・アンド・ビジネス・バンキング: 南アフリカの好調な業績がけん引し収益は 5% 増加しました。基調通貨ベースでは 11% の増加となりました。
 - 欧州リテール・アンド・ビジネス・バンキング: マージンの改善と減損費用の減少を反映して収益が 14% 増加しました。
 - バークレイズ・コーポレート: 減損費用の減少を主因に収益が 38% 増加しました。
 - バークレイズ・ウェルス: 投資計画を継続実行し、収益が 13% 増加しました。
- 当グループは収益成長を実現しましたが、減損費用の計上と成長達成は相容れないという認識の下、引き続き資産の質の改善に注力しています。

4. よき企業市民として

よき企業市民として責任を果たすことは当グループの 4 つ目の優先事項です。当グループは 2011 年にこの分野で大きな進展を遂げましたが、この課題が今後長い時間を要するという認識の下、引き続き実行に取り組んでいます。

業績ハイライト部分に、グループが焦点を当てる分野別に、以下の新たな開示情報を記載しました: 実体経済の成長への貢献、事業のあり方、地域社会の支援。

企業市民としての責任を重視することは、当グループのすべてのステークホルダーに持続可能なリターンを提供する上で非常に重要な意味を持つと考えています。

結論

経済及び規制を取り巻く環境は 2012 年も引き続き厳しいものと予想されますが、2011 年度の実績が示すように、バークレイズはすべての事業で競争力を強化しており、経済成長をより幅広く支えるべく熱心に取り組んでいます。顧客重視の姿勢を最優先することにより、今後の目標財務リターンの達成は可能であると予想されます。

グループ最高責任者、ボブ・ダイヤモンド

グループ財務担当取締役のレビュー

2011年の当グループの利益は小幅な減少となりました。これは、コーポレート・アンド・インベストメント・バンキング部門の収益の減少が、その他の全事業の収益の改善、信用に関する減損費用の大幅な改善、及びコスト削減によって一部相殺されたことによるものです。適正な資本管理によりコア Tier1 比率はさらに上昇しました。当グループの資金調達ポジション及び流動性は引き続き盤石です。

損益計算書

- 2011年の当グループの税引前利益は前年比 3%減の 58 億 7,900 万ポンドとなりました。また、調整後税引前利益は前年比 2%減の 55 億 9,000 万ポンドとなりました。前年との業績の比較においては、調整後損益の方がより一貫性のある基準となります。
- パークレイズ・キャピタルの収益減少を主因に、当グループの調整後収益は前年比 8%減の 285 億 1,200 万ポンドとなりました。持続的な低金利や厳しいマクロ経済環境にもかかわらず、その他の大部分の事業では収益が増加しました。
- リテール・アンド・ビジネス・バンキング(RBB)、コーポレート及びウェルスの純金利マージンは 204 ベーシス・ポイントで引き続き安定的に推移しました(2010 年は 203 ベーシス・ポイント)。RBB、コーポレート、ウェルス及びパークレイズ・キャピタルの利息収入純額は前年比 5%増の 132 億ポンドとなりました。このうちヘッジによる寄与(ヘッジ商品の売却による 4 億 6,300 万ポンドの増益分を含む)は 3%増加しました。
- 信用に関する減損費用はすべての事業における大幅な改善を反映し、前年比 33%減の 38 億 200 万ポンドとなりました。2011 年 12 月 31 日現在のグループの貸付金に対する減損費用の比率は 2010 年の 118 ベーシス・ポイントから 77 ベーシス・ポイントへと改善しました。なお、18 億ポンドの減損費用はブラックロック社への投資に対するものでした。
- 支払保障保険に関する補償引当金 10 億ポンド及びのれんの減損 5 億 9,700 万ポンド(2010 年は 2 億 4,300 万ポンド)を除いた調整後営業費用は前年比 5 億 4,800 万ポンド減の 191 億 8,000 万ポンドとなりました。2011 年に導入された英国銀行税 3 億 2,500 万ポンドを除いた営業費用は同 4%減の 188 億 5,500 万ポンドでした。これには事業再編費用 4 億 800 万ポンド(2010 年は 3 億 3,000 万ポンド)が含まれています。
- コスト削減にもかかわらず、収益に対する費用の調整後比率は収益の減少、事業再編費用の増加、及び英国銀行税の導入を反映し、67%に上昇しました(2010 年は 64%)。パークレイズ・キャピタルでは厳しい状況下での収益の減少を反映し、営業収益純額に対する費用の比率は 71%(2010 年は 65%)、収益に対する人件費の比率は 47%(2010 年は 43%)となりました。
- 実効税率は 32.8%に上昇しました(2010 年は 25.0%)。これは主としてブラックロック社とのれんに関連した減損から生じる損金不算入の費用並びに英国銀行税に起因するものです。
- 2011 年度第 4 四半期の調整後収益は通年の平均値を 13%下回る水準となりました。これは主として厳しい市場環境によるパークレイズ・キャピタルへの影響及び主に第 3 四半期に実施したヘッジ商品の売却に係る利益を反映しています。第 4 四半期の信用に関する減損費用は通年の平均値とほぼ同水準でした。第 4 四半期の英国銀行税に関して通年の費用を課せられても、調整後営業費用は引き続き通年を下回る水準に減少しました。

貸借対照表

- 1 株当たり純資産価額は前年比 9%増の 456 ペンスでした。1 株当たり正味有形資産価額は同 13%増の 391 ペンスでした。
- 2011 年 12 月 31 日現在の株主資本合計(非支配持分を含む)は 652 億ポンドでした(2010 年は 623 億ポンド)。非支配持分を除いた株主資本は 47 億ポンド増の 556 億ポンドでした。これは、税引後利益 30 億ポンド、並びに売却可能資産及びキャッシュフロー・ヘッジ評価差額のプラスの変動が不利な換算差額と配当金支払のマイナスにより相殺されたことを反映しています。
- 資産合計は 1 兆 5,640 億ポンドに増加しました(2010 年は 1 兆 4,900 億ポンド)。最大の要因は主要フォワードカーブの低下に伴う総額ベースの金利デリバティブ資産の公正価値の増加で、リバース・レポ取引による減少により一部相殺されました。
- グループ全体の預り金に対する貸付金の比率は引き続き改善して 118%となりました(2010 年は 124%)。
- 調整後グロス・レバレッジは引き続き 20 倍で安定し、2011 年中の各月末の調整後グロス・レバレッジは 20 倍から 23 倍の範囲内で推移しました。余剰流動性を除いた調整後グロス・レバレッジは 17 倍で横ばいでした。

資本管理

- 2011 年 12 月 31 日現在の当グループのコア Tier1 比率は 11.0%でした(2010 年は 10.8%)。これは、利益剰余金による寄与とリスク調整後資産の減少が CRD3 による影響を上回ったことを反映しています。

グループ財務担当取締役のレビュー

- パークレイズ・グループは引き続きコア Tier 1 資本を留保利益(当グループ自身の信用度、ブラックロック社への投資に関する減損及びのれんの減損を除くが、これらは規制資本の目的において、再び加算される)からもたらしました。これによる寄与である 26 億ポンドはコア Tier 1 資本のその他の変動、特に年金拠出及び為替変動によりほぼ相殺され、その結果、コア Tier 1 資本は 2 億ポンド増の 431 億ポンドとなりました。
- リスク調整後資産は若干減少して 3,910 億ポンドとなりました(2010 年:3,980 億ポンド)。為替変動並びに取引減少、リスク削減及びクレジット市場に対するエクスポージャーの売却によるパークレイズ・キャピタルの資産減少が主因で、2011 年 12 月の CRD3 実施による 300 億ポンドの増加を上回りました。
- 当グループでは、強固なコア Tier 1 資本比率、有機的に資本を創出する能力、さらにリスク調整後資産の最適な活用により、バーゼル III の影響を吸収しつつ当グループが目標とする自己資本比率の達成が可能であると見込んでいます。

資金調達及び流動性

当グループの全般的な資金調達戦略は、多角的な資金調達基盤を開拓して様々な代替的資金調達源へのアクセスを維持し、それにより資金調達コストを最小化し、予期せざる変動に対する防御を備えるというものです。こうした枠組みの中で、当グループは資金調達源と資金利用を整合させることを目指しています。

- 顧客に対する貸付金及び当座貸越の大部分は顧客預り金で賄っており、超過分があれば長期ホールセール担保付債券及び株式で資金調達しています。2011 年 12 月 31 日現在の総預貸率は 118%(2010 年:124%)、預り金及び長期資金に対する貸付金の比率は 75%(2010 年:77%)となりました。
- ホールセール・ファンディングは堅実に管理されています:
 - トレーディング・ポートフォリオ資産については主としてレポ取引で資金を調達しています。リバース・レポ取引の大半はレポ・ファイナンスで対応させており、残りはトレーディング・ポートフォリオ負債の決済に活用しています。
 - デリバティブ資産及び負債はほぼ見合っています。
 - 余剰流動性は主として 1 年未満に満期を迎えるホールセール債務で資金を調達しており、相当部分は 1 年超で満期を迎えます。
- 2011 年 12 月 31 日現在の当グループのホールセール債務は各種通貨建ての 2,650 億ポンドで、このうち担保付き債務はわずか 390 億ポンドです:
 - 2012 年中に満期を迎えるターム・ファンディングは総額 270 億ポンドでした。2011 年中に調達したターム・ファンディングは 300 億ポンド(2010 年:350 億ポンド)で、2011 年中に満期を迎えたターム・ファンディング 250 億ポンドを上回りました。2012 年 1 月には 50 億ポンドのターム・ファンディングを調達しました。
 - 2011 年 12 月 31 日現在の顧客に対する貸付金の約 10%が外部資金により担保が付されており、大幅な担保付債券発行の余地が残されています。
- 2011 年 12 月 31 日現在の余剰流動性は 1,520 億ポンド(2010 年:1,540 億ポンド)で、各月末の余剰流動性は 1,400 億ポンドから 1,670 億ポンドの範囲内で推移しました。ホールセール・ファンディング市場におけるストレスにもかかわらず、短期資金はロールオーバーされています。余剰流動性は優良かつ流動性の高い、各種通貨建ての担保の付されていない資産で構成されており、ホールセール債務の需要とほぼ一致しています。余剰流動性の 93%(2010 年:88%)は現金及び中央銀行預け金並びに国債でした。
- 当グループは「流動性カバレッジ比率(LCR)」、「安定調達比率(NSFR)」を含むバーゼル III で予想される流動性指標に対するコンプライアンスをモニターしています。2011 年 12 月 31 日現在、当グループは LCR 要件の 82%(2010 年:80%)、NSFR 要件の 97%(2010 年:94%)を満たしており、バーゼル III でそれぞれ 2015 年、2018 年までに求められる 100%のコンプライアンスを達成できる見通しです。

配当

- 2011 年の最終配当金については、1 株当たり 3 ペンスを 2012 年 3 月 16 日付で支払います。これにより 2011 年の配当金合計は 1 株当たり 6 ペンスとなります。

見通し

- リテール・アンド・ビジネス・バンキング事業(RBB)及びコーポレート・バンキング事業の 2012 年 1 月の業績は 2011 年に達成された良好な業績に匹敵するものでした。現時点でトレンドを示唆することは時期尚早ではありますが、市場環境の改善によりパークレイズ・キャピタルの新年度は好調な出だしとなりました。

グループ財務担当取締役、クリス・ルーカス

要約連結財務書類

要約連結損益計算書

継続事業	注 ¹	2011年	2010年
		12月31日に 終了した年度 百万ポンド	12月31日に 終了した年度 百万ポンド
利息収入純額	1	12,201	12,523
手数料収入純額		8,622	8,871
トレーディング収益純額		7,660	8,078
投資収益純額		2,305	1,477
保険契約に基づく保険料収入純額		1,076	1,137
その他の収益		1,169	118
収益合計		33,033	32,204
保険契約に基づく保険金及び給付金純額		(741)	(764)
保険金控除後の収益合計	2	32,292	31,440
信用に関する減損費用及びその他の引当金繰入額		(3,802)	(5,672)
ブラックロック社への投資に関する減損		(1,800)	-
営業収益純額		26,690	25,768
人件費		(11,407)	(11,916)
一般管理費	3	(6,356)	(6,585)
有形固定資産減価償却費		(673)	(790)
無形資産償却費		(419)	(437)
営業費用(支払保障保険に関する補償引当金、のれんの減損、英国銀行税を除く)		(18,855)	(19,728)
支払保障保険に関する補償引当金 ²	14	(1,000)	-
のれんの減損		(597)	(243)
英国銀行税	4	(325)	-
営業費用		(20,777)	(19,971)
関連会社及び合併事業の税引後損益に対する持分		60	58
子会社、関連会社及び合併事業の売却に係る(損失)/利益	5	(94)	81
買収に係る利益	6	-	129
税引前利益		5,879	6,065
税金	7	(1,928)	(1,516)
税引後利益		3,951	4,549
以下に帰属するもの:			
親会社の株主		3,007	3,564
非支配持分	8	944	985
税引後利益		3,951	4,549

1 財務書類に関する注記は原文 67 から 80 ページ参照。

2 支払保障保険に関する訴訟の和解引当金は、司法審査手続の結論を受けたものです。これに加え、当グループでは司法審査に関連しない支払保障保険に対する訴訟の和解引当金として、1,300 万ポンド(2010 年は 1 億 6,200 万ポンド)を認識しています。

要約連結財務書類

要約連結包括利益計算書

継続事業	注 ¹	2011年	2010年
		12月31日に 終了した年度	12月31日に 終了した年度
		百万ポンド	百万ポンド
税引後利益		3,951	4,549
その他の包括利益			
為替換算差額	17	(1,607)	1,184
売却可能金融資産	17	1,374	(1,236)
キャッシュフロー・ヘッジ	17	1,263	(44)
その他		(74)	59
当期その他の包括利益		956	(37)
当期包括利益合計		4,907	4,512
以下に帰属するもの:			
親会社の株主		4,576	2,975
非支配持分		331	1,537
当期包括利益合計		4,907	4,512

¹ 注記は原文 67 から 80 ページ参照

要約連結財務書類

要約連結貸借対照表

資産	注 ¹	2011年	2010年
		12月31日 現在 百万ポンド	12月31日 現在 百万ポンド
現金及び中央銀行預け金		106,894	97,630
他銀行から取立中の項目		1,812	1,384
トレーディング・ポートフォリオ資産		152,183	168,867
公正価値で測定すると指定された金融資産		36,949	41,485
デリバティブ	11	538,964	420,319
銀行に対する貸付金		47,446	37,799
顧客に対する貸付金		431,934	427,942
リバース・レポ取引及びその他類似の担保付貸付		153,665	205,772
売却可能金融投資		68,491	65,110
未収還付税及び繰延税金資産	7	3,384	2,713
前払金、未収収益及びその他の資産		4,563	5,143
関連会社及び合併会社に対する投資		427	518
のれん及び無形資産	13	7,846	8,697
有形固定資産		7,166	6,140
退職給付資産	15	1,803	126
資産合計		1,563,527	1,489,645
負債			
銀行預り金		91,116	77,975
他銀行への未決済項目		969	1,321
顧客預り金		366,032	345,788
レポ取引及びその他類似の担保付借入		207,292	225,534
トレーディング・ポートフォリオ負債		45,887	72,693
公正価値で測定すると指定された金融負債		87,997	97,729
デリバティブ	11	527,910	405,516
発行債券		129,736	156,623
未払費用、繰延収益、及びその他の負債		12,580	13,233
未払税金及び繰延税金負債	7	2,092	1,160
劣後負債		24,870	28,499
引当金	14	1,529	947
退職給付債務	15	321	365
負債合計		1,498,331	1,427,383
株主資本			
非支配持分を除く株主資本		55,589	50,858
非支配持分	8	9,607	11,404
株主資本合計		65,196	62,262
負債及び株主資本合計		1,563,527	1,489,645

¹ 注記は原文 67 から 80 ページ参照

要約連結財務書類

要約連結株主資本変動表

2011年12月31日に終了した年度	払込済株主資本及び株式払込剰余金 ¹	その他の剰余金 ¹	利益剰余金	合計	非支配株主資本持分 ²	株主資本合計
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
2011年1月1日現在の残高	12,339	1,754	36,765	50,858	11,404	62,262
税引後利益	-	-	3,007	3,007	944	3,951
為替換算の変動	-	(1,009)	-	(1,009)	(598)	(1,607)
売却可能投資	-	1,380	-	1,380	(6)	1,374
キャッシュフロー・ヘッジ	-	1,290	-	1,290	(27)	1,263
その他	-	-	(92)	(92)	18	(74)
当期包括利益合計	-	1,661	2,915	4,576	331	4,907
従業員株式制度に基づく株式発行	41	-	838	879	-	879
自己株式の増加	-	(165)	-	(165)	-	(165)
自己株式の権利確定	-	499	(499)	-	-	-
配当金支払額	-	-	(660)	(660)	(727)	(1,387)
資本準備商品の償還	-	-	-	-	(1,415)	(1,415)
その他の剰余金の変動	-	88	13	101	14	115
2011年12月31日現在の残高	12,380	3,837	39,372	55,589	9,607	65,196
2010年12月31日に終了した年度						
2010年1月1日現在の残高	10,804	2,628	33,845	47,277	11,201	58,478
税引後利益	-	-	3,564	3,564	985	4,549
為替換算の変動	-	742	-	742	442	1,184
売却可能投資	-	(1,245)	-	(1,245)	9	(1,236)
キャッシュフロー・ヘッジ	-	(100)	-	(100)	56	(44)
その他	-	-	14	14	45	59
当期包括利益合計	-	(603)	3,578	2,975	1,537	4,512
新規普通株式発行	1,500	-	-	1,500	-	1,500
従業員株式制度に基づく株式発行	35	-	830	865	-	865
自己株式の増加	-	(989)	-	(989)	-	(989)
自己株式の権利確定	-	718	(718)	-	-	-
配当金支払額	-	-	(531)	(531)	(803)	(1,334)
資本準備商品の償還	-	-	-	-	(487)	(487)
その他の剰余金の変動	-	-	(239)	(239)	(44)	(283)
2010年12月31日現在の残高	12,339	1,754	36,765	50,858	11,404	62,262

要約連結キャッシュフロー計算書

継続事業	2011年 12月31日 に終了した年度	2010年 12月31日 に終了した年度
	百万ポンド	百万ポンド
税引前利益	5,879	6,065
非現金項目の調整	8,193	971
営業資産及び負債の変動	16,693	13,108
法人税等支払額	(1,686)	(1,458)
営業活動からのキャッシュ純額	29,079	18,686
投資活動からのキャッシュ純額	(1,912)	(5,627)
財務活動からのキャッシュ純額	(5,961)	159
現金及び現金同等物に係る為替レートの影響	(2,933)	3,842
現金及び現金同等物の純増加	18,273	17,060
現金及び現金同等物の期首残高	131,400	114,340
現金及び現金同等物の期末残高	149,673	131,400

¹ 株主資本及びその他の剰余金の詳細は原文76ページ参照

² 非支配持分の詳細は原文70ページ参照

事業部門別業績

パークレイズ・キャピタル

損益計算書関連の情報	2011年	2010年	増減率(%)
	12月31日 に終了した 年度	12月31日 に終了した 年度	
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	
利息収入純額	1,177	1,121	5
手数料収入純額	3,026	3,347	(10)
トレーディング収益純額	5,264	7,986	(34)
投資収益純額	873	752	16
その他の(費用)/収益	(5)	3	nm
収益合計	10,335	13,209	(22)
信用に関する減損費用及びその他の引当金繰入額	(93)	(543)	(83)
営業収益純額	10,242	12,666	(19)
営業費用	(7,289)	(8,295)	(12)
関連会社及び合併事業の税引後損益に対する持分	12	18	(33)
税引前利益¹	2,965	4,389	(32)
調整後税引前利益¹	2,965	4,389	(32)
貸借対照表関連の情報	(億ポンド)	(億ポンド)	
銀行及び顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	1,586	1,497	6
顧客預り金	831	703	18
資産合計	11,584	10,948	6
調整後グロス・レバレッジに寄与する資産	6,040	6,681	(10)
リスク調整後資産	1,867	1,913	(2)
余剰流動性	1,520	1,540	(1)

パフォーマンス指標	調整後 ¹		法定	
	2011年 12月31日 に終了した 年度	2010年 12月31日 に終了した 年度	2011年 12月31日 に終了した 年度	2010年 12月31日 に終了した 年度
平均株主資本利益率 ²	10.4%	13.5%	10.4%	13.5%
平均有形株主資本利益率 ²	10.8%	14.1%	10.8%	14.1%
平均リスク調整後資産利益率	1.2%	1.5%	1.2%	1.5%
貸倒率(bp)	8	42	8	42
収益に対する費用の比率	71%	63%	71%	63%
営業収益純額に対する費用の比率	71%	65%	71%	65%
収益に対する人件費の比率	47%	43%	47%	43%
従業員1人当たり平均収益(千ポンド)	£424	£529	£424	£529

その他財務指標	2011年 12月31日 に終了した 年度	2010年 12月31日 に終了した 年度
平均 DVaR(95%)	57 百万ポンド	53 百万ポンド
従業員数(常勤換算)	24,000	24,800

- 1 現在、ストラクチャード・ノート発行額の公正価値に対する当グループ自身の信用度の変動の影響27億800万ポンド(2010年:3億9,100万ポンド)はパークレイズ・キャピタルではなく本社機能及びその他事業の業績に含まれている。これは、これらの公正価値の変動はパークレイズ・キャピタルのみの信用度ではなく発行体全体としての信用度に関連しており、パークレイズ・キャピタルの基礎的な業績の評価に含まれていないという事実を反映したものである。さらに、会計基準の変更予定の遅れにより、当グループ自身の信用度の変動が予測可能な将来において引き続き損益計算書に反映される可能性が大きいことを意味している。
- 2 平均株主資本利益率及び平均有形株主資本利益率の比較数値は、平均株主資本及び平均有形株主資本の算出において平均リスク調整後資産の10%(従来は9%)を使用するように修正されている。

事業部門別業績

パークレイズ・キャピタル

- 税引前利益は 29 億 6,500 万ポンド(2010 年:43 億 8,900 万ポンド)。厳しい市場環境の中で、収益が前年比 22%減の 103 億 3,500 万ポンドとなったことが主因だが、信用に関する減損費用及び人件費を含む営業費用の減少で一部相殺された。

収益合計の内訳	2011 年	2010 年	増減率(%)
	12 月 31 日 に終了した 年度	12 月 31 日 に終了した 年度	
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	
債券、為替、及びコモディティ	6,325	8,687	(27)
株式及びプライム・サービス	1,751	2,040	(14)
インベストメント・バンキング	2,027	2,243	(10)
プリンシパル・インベストメント	232	239	(3)
収益合計	10,335	13,209	(22)

- 債券、為替及びコモディティ(FICC)部門の収益は前年比 27%減の 63 億 2,500 万ポンド。厳しい取引環境の中、金利、クレジット及びコモディティからの寄与が減少したことを反映している。市場のボラティリティ上昇と顧客取引高の増加により、為替の収益は前年比 27%増。
- 株式及びプライム・サービス事業の収益は前年比 14%減。現物株式及び株式デリバティブのパフォーマンスが低下したが、エクイティ・ファイナンスの顧客フローの改善で一部相殺。
- インベストメント・バンキング事業の収益は前年比 10%減。株式引受は前年並みだったものの、金融アドバイザー業務及び債券引受が取引活動低下の影響を受けた。
- 2011 年第 4 四半期の収益は 2011 年第 3 四半期に比べ 19%減少し、18 億 1,800 万ポンドとなった。インベストメント・バンキング事業の収益は金融アドバイザー業務並びに債券及び株式引受業務の堅調なパフォーマンスを反映して 30%増加した。株式及びプライム・サービス事業の収益は 10%減少、FICC 部門の収益も 32%減少した。
- 信用に関する減損費用 9,300 万ポンド(2010 年:5 億 4,300 万ポンド)は主としてレバレッジド・ファイナンスに関連する費用を反映したものの、プロティアム社向け貸付金に関連する減損引当金の戻し入れ 2 億 2,300 万ポンドで相殺された。
- 営業費用は前年比 12%減の 72 億 8,900 万ポンド。人件費及び人件費以外の費用がともに減少したことを反映したものの、従業員総数が 3%減少したのに対し、2011 年の賞与基金(ボーナス・プール)は 32%減の 15 億ポンド。
- 調整後グロス・レバレッジに寄与する資産は主としてリバース・レポ取引の減少により前年比 10%減の 6,040 億ポンド。資産合計は同 6%増の 1 兆 1,580 億ポンド。これは、総額ベースの金利デリバティブ資産の公正価値の上昇を反映したものの、リバース・レポ取引の減少により相殺された。
- クレジット市場に対するエクスポージャーは前年比 87 億ポンド減の 152 億ポンド。以前はプロティアム社の担保としていた資産並びに商業用不動産ローン及び不動産の売却が減少の主因。
- リスク調整後資産は前年比 2%減の 1,870 億ポンド。顧客取引の減少、リスク削減及びクレジット市場に対するエクスポージャー減少を反映したもので、これが CRD3 の影響を上回った。
- 厳しい市場環境を反映して、平均株主資本利益率は 10.4%(2010 年:13.5%)、平均リスク調整後資産利益率は 1.2%(2010 年:1.5%)。

四半期業績

グループの業績	11年度	11年度	11年度	11年度	10年度	10年度	10年度	10年度
	第4 四半期	第3 四半期	第2 四半期	第1 四半期	第4 四半期	第3 四半期	第2 四半期	第1 四半期
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
調整後ベース								
保険金控除後の収益合計	6,212	7,001	7,549	7,750	8,081	7,238	7,563	8,167
信用に関する減損費用及びその他の引当金繰入額	(951)	(1,023)	(907)	(921)	(1,374)	(1,218)	(1,572)	(1,508)
営業収益純額	5,261	5,978	6,642	6,829	6,707	6,020	5,991	6,659
営業費用(英国銀行税を除く)	(4,414)	(4,659)	(4,940)	(4,842)	(5,252)	(4,756)	(4,868)	(4,852)
英国銀行税	(325)	-	-	-	-	-	-	-
関連会社及び合併会社の税引後損益に対する持分	6	18	19	17	16	9	18	15
調整後税引前利益	528	1,337	1,721	2,004	1,471	1,273	1,141	1,822
調整項目								
当グループ自身の信用度に関連する(損失)/利益	(263)	2,882	440	(351)	487	(947)	953	(102)
債務買戻しに係る利益	1,130	-	-	-	-	-	-	-
ブラックロック社への戦略的投資の売却	-	-	(58)	-	-	-	-	-
ブラックロック社への投資に関する減損	-	(1,800)	-	-	-	-	-	-
PPI 補償引当金	-	-	(1,000)	-	-	-	-	-
のれんの減損	(550)	-	(47)	-	(243)	-	-	-
買収及び売却に係る(損失)/利益	(32)	3	(67)	2	76	1	33	100
税引前利益	813	2,422	989	1,655	1,791	327	2,127	1,820
基本的 1 株当たり利益	2.9p	9.7p	4.0p	8.5p	9.1p	0.4p	11.6p	9.3p
収益に対する費用の調整後比率	76%	67%	65%	62%	65%	66%	64%	59%
営業収益純額に対する費用の調整後比率	90%	78%	74%	71%	78%	79%	81%	73%
収益に対する費用の比率	75%	47%	75%	65%	64%	76%	57%	60%
営業収益純額に対する費用の比率	86%	66%	85%	75%	76%	94%	70%	74%
英国 RBB								
調整後ベース								
保険金控除後の収益合計	1,129	1,273	1,170	1,084	1,186	1,161	1,087	1,084
信用に関する減損費用及びその他の引当金繰入額	(156)	(105)	(131)	(144)	(170)	(202)	(222)	(225)
営業収益純額	973	1,168	1,039	940	1,016	959	865	859
営業費用	(752)	(675)	(622)	(653)	(762)	(725)	(628)	(694)
関連会社及び合併会社の税引後損益に対する持分	1	1	(1)	1	1	(4)	-	2
調整後税引前利益	222	494	416	288	255	230	237	167
調整項目								
PPI 補償引当金	-	-	(400)	-	-	-	-	-
買収及び売却に係る利益	-	-	-	-	-	-	29	71
税引前利益	222	494	16	288	255	230	266	238
欧州 RBB								
調整後ベース								
保険金控除後の収益合計	247	375	309	295	263	299	297	305
信用に関する減損費用及びその他の引当金繰入額	(83)	(62)	(47)	(69)	(89)	(92)	(62)	(71)
営業収益純額	164	313	262	226	174	207	235	234
営業費用	(291)	(263)	(368)	(289)	(283)	(255)	(246)	(249)
関連会社及び合併会社の税引後損益に対する持分	2	2	4	4	4	4	4	3
調整後税引前(損失)/利益	(125)	52	(102)	(59)	(105)	(44)	(7)	(12)
調整項目								
のれんの減損	(427)	-	-	-	-	-	-	-
買収及び売却に係る利益	-	-	-	-	-	-	-	29
税引前(損失)/利益	(552)	52	(102)	(59)	(105)	(44)	(7)	17

四半期業績

アフリカ RBB	11年度	11年度	11年度	11年度	10年度	10年度	10年度	10年度
	第4	第3	第2	第1	第4	第3	第2	第1
	四半期	四半期	四半期	四半期	四半期	四半期	四半期	四半期
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
調整後ベース								
保険金控除後の収益合計	906	994	955	912	983	935	900	882
信用に関する減損費用及びその他の引当金繰入額	(87)	(109)	(126)	(142)	(137)	(95)	(164)	(166)
営業収益純額	819	885	829	770	846	840	736	716
営業費用	(534)	(642)	(618)	(605)	(678)	(671)	(549)	(520)
関連会社及び合併会社の税引後損益に対する持分	1	-	1	2	5	(3)	-	1
調整後税引前利益	286	243	212	167	173	166	187	197
調整項目								
買収及び売却に係る利益	-	2	-	-	77	-	4	-
税引前利益	286	245	212	167	250	166	191	197
パークレイカード								
調整後ベース								
保険金控除後の収益合計	983	1,140	1,012	960	1,036	1,030	981	977
信用に関する減損費用及びその他の引当金繰入額	(271)	(340)	(344)	(304)	(393)	(405)	(425)	(465)
営業収益純額	712	800	668	656	643	625	556	512
営業費用	(458)	(430)	(400)	(371)	(420)	(386)	(364)	(400)
関連会社及び合併会社の税引後損益に対する持分	5	8	7	11	7	5	7	6
調整後税引前利益	259	378	275	296	230	244	199	118
調整項目								
PPI 補償引当金	-	-	(600)	-	-	-	-	-
のれんの減損	-	-	(47)	-	-	-	-	-
税引前利益／(損失)	259	378	(372)	296	230	244	199	118
パークレイズ・キャピタル¹								
調整後及び法定ベース								
債券、為替及びコモディティ	971	1,438	1,715	2,201	2,031	1,773	2,138	2,745
株式及びプライム・サービス	305	338	563	545	625	359	563	493
インベストメント・バンキング	506	389	520	612	725	501	461	556
プリンシパル・インベストメント	36	89	99	8	115	19	4	101
収益合計	1,818	2,254	2,897	3,366	3,496	2,652	3,166	3,895
信用に関する減損費用及びその他の引当金繰入額	(90)	(114)	80	31	(222)	(12)	(41)	(268)
営業収益純額	1,728	2,140	2,977	3,397	3,274	2,640	3,125	3,627
営業費用	(1,458)	(1,758)	(2,006)	(2,067)	(2,201)	(1,881)	(2,154)	(2,059)
関連会社及び合併会社の税引後損益に対する持分	(3)	6	6	3	2	6	7	3
調整後税引前利益及び税引前利益	267	388	977	1,333	1,075	765	978	1,571
パークレイズ・コーポレート								
調整後ベース								
保険金控除後の収益合計	665	776	768	703	807	766	683	718
信用に関する減損費用及びその他の引当金繰入額	(253)	(282)	(327)	(287)	(342)	(405)	(642)	(307)
営業収益純額	412	494	441	416	465	361	41	411
営業費用	(393)	(407)	(427)	(412)	(437)	(398)	(343)	(486)
関連会社及び合併会社の税引後損益に対する持分	1	2	2	(3)	(2)	-	-	-
調整後税引前利益／(損失)	20	89	16	1	26	(37)	(302)	(75)
調整項目								
のれんの減損	(123)	-	-	-	(243)	-	-	-
売却に係る損失	(9)	-	(64)	-	-	-	-	-
税引前(損失)／利益	(112)	89	(48)	1	(217)	(37)	(302)	(75)

¹ 現在、当グループ自身の信用度の変動の影響はパークレイズ・キャピタルではなく本社機能及びその他事業の業績に含められています。

四半期業績

パークレイズ・ウェルス	11年度	11年度	11年度	11年度	10年度	10年度	10年度	10年度
	第4	第3	第2	第1	第4	第3	第2	第1
	四半期	四半期	四半期	四半期	四半期	四半期	四半期	四半期
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
調整後及び法定ベース								
保険金控除後の収益合計	449	447	426	422	417	386	387	370
信用に関する減損費用及びその他の引当金繰入額	(10)	(12)	(9)	(10)	(13)	(8)	(17)	(10)
営業収益純額	439	435	417	412	404	378	370	360
営業費用	(384)	(369)	(375)	(365)	(363)	(351)	(320)	(315)
関連会社及び合併会社の税引後損益に対する持分	(1)	(1)	-	(1)	-	-	-	-
調整後税引前利益及び税引前利益	54	65	42	46	41	27	50	45
インベストメント・マネジメント								
調整後ベース								
保険金控除後の収益合計	22	32	33	24	20	24	5	29
営業費用	(6)	(3)	(6)	-	(8)	-	(3)	-
調整後税引前利益	16	29	27	24	12	24	2	29
調整項目								
ブラックロック社への戦略的投資の売却	-	-	(58)	-	-	-	-	-
ブラックロック社への投資に関する減損	-	(1,800)	-	-	-	-	-	-
税引前利益／(損失)	16	(1,771)	(31)	24	12	24	2	29
本社機能及びその他事業¹								
調整後ベース								
保険金控除後の収益合計	(7)	(290)	(21)	(16)	(127)	(15)	57	(93)
信用に関する減損費用及びその他の引当金繰入額	(1)	1	(3)	4	(8)	1	1	4
営業収益純額	(8)	(289)	(24)	(12)	(135)	(14)	58	(89)
営業費用(英国銀行税を除く)	(138)	(112)	(118)	(80)	(100)	(89)	(261)	(129)
英国銀行税	(325)	-	-	-	-	-	-	-
関連会社及び合併会社の税引後損益に対する持分	-	-	-	-	(1)	1	-	-
調整後税引前損失	(471)	(401)	(142)	(92)	(236)	(102)	(203)	(218)
調整項目								
当グループ自身の信用度に関連する(損失)／利益	(263)	2,882	440	(351)	487	(947)	953	(102)
債務買戻しに係る利益	1,130	-	-	-	-	-	-	-
買収及び売却に係る(損失)／利益	(23)	1	(3)	2	(1)	1	-	-
税引前利益／(損失)	373	2,482	295	(441)	250	(1,048)	750	(320)

¹ 現在、当グループ自身の信用度の変動の影響はパークレイズ・キャピタルではなく本社機能及びその他事業の業績に含まれています。

報酬

パークレイズ・グループでは、当グループの報酬管理において適用すべき判断に全てのステークホルダーの皆様が注目していることの重要性を、十分に認識しております。私たちはその責任の重さを真剣に捉えており、お客様に向けたサービスの質の強化を図りながら、同時に、将来の収益性の確保と株主還元を最大化とを整合した形での報酬管理に努めております。

特にパークレイズ・グループの全事業部門が事業を行っている、極めて競争の激しいグローバル市場では、適材適所に人材を配することが、お客様に効果的にサービスを提供し、それによって株主利益を創出する上で極めて重要です。この理由から、パークレイズの報酬管理を行う際に競争力が要求されます。

当グループでは、給与、賞与及び長期報奨から構成される報酬の合計額に基づき、報酬の決定を管理しております。競争力と責任の適切なバランスを取る上で重要なのは、報酬の固定部分と変動部分をどう組み合わせるか、という点です。当グループでは、報酬の固定部分(大部分は給与)を、市場での相場や現行の規制要件と整合する水準に設定しています。そして、報酬の変動部分を用いて、コストベースを経済環境及び事業環境の変化に柔軟に呼応させ、報酬額と現在及び将来の業績との間に明確な関連性を持たせています。特に上級職の社員に関しては、長期的パフォーマンスを促すため、賞与の相当部分を株式で支払うとともに、繰延賞与における条件付回収条項などを付しています。

当グループでは、報酬の変動部分による報奨を従業員の長期的なパフォーマンスと対応させるために、繰延賞与の利用を増加させております。繰延賞与は、従業員が所定の勤務年数を含む特定の条件を満たした場合に限り支払われるものです。このため、関連費用はその期間にわたり認識されます。これによって、賞与プール(経営陣により決定され、取締役会報酬委員会によって承認される、賞与の合計付与額)の報告と、損益計算書に表示される費用に時間差が生じます。そこで、報酬の部分と、会計基準に準拠して認識された損益計算書の費用と調整される賞与プールに関する経営陣及び取締役会の判断に関連する報酬要素を、以下に記載します。

報奨

- 賞与プール合計額は前年比で 25%の減少、報奨合計は同 26%の減少となり、グループの調整後税引前収益は同 2%の減少となりました。
- 税引前利益(賞与控除前)に占める賞与プールの合計額の割合は、前年の 33%から 28%に減少しました。
- パークレイズ・キャピタルの賞与プールは前年比で 32%の減少、報奨合計額は同 35%の減少となり、パークレイズ・キャピタルの税引前収益は同 32%減となりました。
- グループ従業員 1 人当たりの平均賞与額は前年比 21%減の 15,200 ポンド、パークレイズ・キャピタルの従業員 1 人当たりの平均賞与額は前年比 30%減の 64,000 ポンドでした。
- パークレイズ・キャピタルの全従業員に関して、当期現金賞与は 65,000 ポンドが上限とされています。
- 繰り延べられる賞与プールの比率は FSA による報酬基準(Remuneration Code)の要件を大幅に上回っており、全世界的に見て繰り延べは最高水準にあると見られます。パークレイズ・キャピタルでは、賞与プールの 75%が繰り延べられます。
- 業務執行取締役及び報酬額が最高レベルの上級経営陣 8 名の年間報奨は、同一基準下で前年比 48%の減少となりました。

賞与プールの構成要素	予想付与日	予想支払日 ¹	損益計算書に計上される年 ²
当期現金賞与	2012年2月	2012年2月	2011年
当期株式賞与	2012年2月/3月	2012年2月から 2012年9月	2011年
繰延現金賞与	2012年3月	2013年3月(33.3%) 2014年3月(33.3%) 2015年3月(33.3%)	2012年(48%) 2013年(35%) 2014年(15%) 2015年(2%)
繰延株式賞与	2012年3月	2013年3月(33.3%) 2014年3月(33.3%) 2015年3月(33.3%)	2012年(48%) 2013年(35%) 2014年(15%) 2015年(2%)

¹ 支払いは、予想支払日に先立ってすべての業績条件が満たされることが条件となっています。さらに、繰延現金賞与を受ける従業員は、継続勤務を条件として、最終の支払いが行われる時点で当初報奨額の 10%に相当する勤務年数加算を付与される場合があります。

² 損益計算書への計上は、業績条件が満たされた期間に基づいています。

業績管理

報奨合計額 - 当期及び繰延

	パークレイズ・グループ			パークレイズ・キャピタル		
	2011年12月31日に終了した年度	2010年12月31日に終了した年度	増減率(%)	2011年12月31日に終了した年度	2010年12月31日に終了した年度	増減率(%)
	百万ポンド	百万ポンド		百万ポンド	百万ポンド	
当期現金賞与	832	1,601	(48)	381	1,139	(67)
当期株式賞与	66	73	(10)	3	57	(95)
当期賞与合計	898	1,674	(46)	384	1,196	(68)
繰延現金賞与	618	568	9	576	530	9
繰延株式賞与	634	609	4	576	535	8
繰延賞与合計	1,252	1,177	6	1,152	1,065	8
賞与プール	2,150	2,851	(25)	1,536	2,261	(32)
販売コミッション、コミットメント、その他の報奨	428	633	(32)	201	399	(50)
報奨付与合計	2,578	3,484	(26)	1,737	2,660	(35)
PBT(賞与控除前)に対する賞与プール比率 ¹	28%	33%		35%	36%	
調整後PBT(賞与控除前)に対する賞与プール比率 ¹	29%	34%		35%	36%	
賞与の繰り延べ比率	58%	41%		75%	47%	
合計従業員数(常勤換算)	141,100	147,500	(4)	24,000	24,800	(3)
従業員1人当たり賞与	£15,237	£19,329	(21)	£64,000	£91,169	(30)

報奨付与合計額から損益計算書計上額への調整

	2011年12月31日に終了した年度	2010年12月31日に終了した年度
	百万ポンド	百万ポンド
2011年の報奨合計額	2,578	3,484
控除: 2011年の繰延賞与額	(1,252)	(1,177)
加算: 過年度からの繰延賞与の当期費用計上額	995	904
その他 ²	206	139
パフォーマンスコストの損益計算書計上額	2,527	3,350

- 従業員は、グループへの労務提供を含む、すべての関連条件を満たした場合に限り、繰延賞与の支払いを受ける資格を得ます。
- パフォーマンスコストの損益計算書への計上は、該当する暦年において従業員が当グループに提供した実際の労務に対する費用を反映しています(これらのサービスが以前の繰延賞与に関連する条件を満たす場合の金額も含まれます)。業績条件が満たされていない繰延賞与の費用は含まれていません。
- したがって、2011年における報奨の付与額は2010年比で26%の減となっていますが、損益計算書でのパフォーマンスコストは25%の減少となっています

¹ 賞与額を税引き前利益(賞与付与に係る損益計算書上の費用を除く)で除した数値として計算されています。

² 報奨付与額と、販売コミッション、コミットメント、その他の報奨に係る損益計算書計上額との差異。

業績管理

損益計算書計上額	2011年12月31日に終了した年度	2010年12月31日に終了した年度	増減率(%)
	百万ポンド	百万ポンド	
パフォーマンスコスト	2,527	3,350	(25)
給与	6,277	6,151	2
その他の株式報酬	167	168	(1)
社会保障費	716	719	-
退職後給付	727	528	38
報酬合計	10,414	10,916	(5)
銀行給与税	76	96	(21)
その他 ¹	917	904	1
報酬以外の合計	993	1,000	(1)
人件費合計	11,407	11,916	(4)

- 人件費の合計は4%減少して114億700万ポンドとなりましたが、これはパフォーマンスコストの8億2,300万ポンドの減少が、2010年に認識された3億400万ポンドの年金費用の戻入の影響で相殺されたことを反映したものです。
- パフォーマンスコストは25%減少して25億2,700万ポンドとなりましたが、これは主に当期現金賞与に係る費用の減少を反映したものです。
- 現時点において、繰延賞与は翌年度以降の損益計算書に計上されることが想定されています。

損益計算書に繰延賞与の費用計上が予想される年度 ²	実績		予想	
	2010年12月31日に終了した年度	2011年12月31日に終了した年度	2012年12月31日に終了する年度	2013年以降
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
2009年及び以前の賞与プールからの繰延賞与	904	405	139	23
2010年の賞与プールからの繰延賞与	-	590	387	205
2011年の賞与プールからの繰延賞与	-	-	601	651
繰延賞与の損益計算書計上額	904	995	1,127	879

- 給与は2%増加して62億7,700万ポンドとなっていますが、これは平均従業員数が漸減する中でインフレが発生したことによるものです。
- 退職後給付費用は38%増加して7億2,700万ポンドとなっていますが、これは2010年における1度限りの3億400万ポンドの費用戻入を反映したものです。2011年の退職後給付制度には重要な変更及び追加はありませんでした。

用語

当期現金賞与 - 当期期間中の業績に関連して裁量に基づいて現金で従業員に支払われる賞与。

当期株式賞与 - 当期期間中の業績に関連して裁量に基づいて株式で従業員に支払われる賞与。規制要件に合わせて、株式には最低保有期間が適用される場合があります。

繰延現金賞与 - 従業員に対して、裁量に基づいて付与され、現金で支払われる業績報奨。通常は3年間にわたる将来の勤務が対象/条件となります。また、これらの報奨には、FSAの報酬基準に準じて潜在的な条件付回収の規定が含まれます。

繰延株式賞与 - 従業員に対して、裁量に基づいて付与され、株式で支払われる業績報奨。通常は3年間にわたる将来の勤務が対象/条件となります。また、これらの報奨には、FSAの報酬基準に準じて潜在的な条件付回収の規定が含まれます。

報奨 - 当期賞与及び繰延賞与の合計に、販売コミッション、保証報奨金、長期報奨制度の付与を加算したものです。

販売コミッション、コミットメント、その他の報奨 - コミッションに基づく契約、保証報奨金、長期報奨制度による付与です。

¹ スタッフのトレーニング、解雇及び採用が含まれています。

² 実際の計上額は、業績条件が満たされているか否かによっており、上記の予想とは異なるものとなります。

資金調達リスク - 資本

主要資本比率

	2011年 12月31日 現在	2010年 12月31日 現在
コア Tier 1 比率	11.0%	10.8%
Tier 1 比率	12.9%	13.5%
総自己資本比率	16.4%	16.9%

資本要素

	百万ポンド	百万ポンド
貸借対照表上の株主資本(非支配持分を除く)	55,589	50,858
貸借対照表上の非支配持分	9,607	11,404
- (控除)その他の Tier 1 資本 - 優先株式	(6,235)	(6,317)
- (控除)その他の Tier 1 資本 - 資本準備商品	-	(1,275)
- (控除)非支配 Tier 2 資本	(573)	(572)
その他の規制上の調整	(138)	(317)
規制上の調整及び控除:		
当グループ自体の信用度に係る累積利益(税引後)	(2,680)	(621)
確定給付型年金の調整	(1,241)	99
売却可能債券に係る未実現損失	555	340
売却可能株式に係る未実現利益(Tier 2 として認識される)	(828)	-
キャッシュフロー・ヘッジ再評価差額	(1,442)	(152)
のれん及び無形資産	(7,560)	(8,326)
予想減損損失の超過分の 50%(税引後)	(506)	(268)
証券化におけるポジションの 50%	(1,577)	(2,360)
その他の規制上の調整	95	368
コア Tier 1 資本	43,066	42,861
その他の Tier 1 資本:		
優先株式	6,235	6,317
Tier 1 社債 ¹	530	1,046
資本準備商品	2,895	6,098
規制上の調整及び控除:		
重要な持分の 50%	(2,382)	(2,676)
予想減損損失の超過分に係る税金の 50%	129	(100)
Tier 1 資本総額	50,473	53,546
Tier 2 資本:		
永久劣後債務	1,657	1,648
期限付劣後債務	15,189	16,565
非支配 Tier 2 資本	573	572
固定資産再評価差額	25	29
売却可能株式に係る未実現利益	828	-
一括評価減損引当金	2,385	2,409
Tier 2 に対する減額:		
重要な持分の 50%	(2,382)	(2,676)
予想減損損失の超過分の 50%(税引前)	(635)	(168)
証券化におけるポジションの 50%	(1,577)	(2,360)
資本総額に対する規制上の調整及び控除:		
重要な持分又は適格持分ではない投資	(1,991)	(1,622)
資本総額に対するその他の控除	(597)	(628)
規制資本総額	63,948	67,315

¹ Tier 1 社債は、連結貸借対照表においては劣後債務に含まれます。

資金調達リスク - 資本

- コア Tier 1 資本は、2 億ポンド増加し、431 億ポンドになりました。その主因は以下のとおりです。
 - 当グループ自身の信用度に関連する利益、ブラックロック社への投資に関する減損及びのれんの減損を除いて(これらは規制資本の目的において、再び加算される)、26 億ポンドの資本が留保利益により生じました。
 - ブラックロック社への投資の価値は、減損前で 11 億ポンド減少しました。
 - 株式報奨が株主資本に与える影響により 5 億ポンド純増しました。
 - 2011 年における英国退職基金への拠出を反映して、13 億ポンド減少しました。
 - 為替変動により 13 億ポンド減少しました。これは、主に、南アフリカ・ランドとユーロが対ポンドで下落したことによるものです。
 - 規制上の控除額の減少により 8 億ポンド増加しました。
- 資本総額は 34 億ポンド減少して 639 億ポンドになりました。これは、主に、バーゼル III においては Tier 1 資本として適格ではない 19 億ポンドの資本準備商品及び 5 億ポンドの Tier 1 社債を対象とし、債務の買戻しを 2011 年 12 月に実施したこと、さらに 13 億ポンドの資本準備商品の償還を行ったことによるものです。

事業部門別資産合計及びリスク調整後資産

	事業部門別資産合計		事業部門別リスク調整後資産	
	2011 年 12 月 31 日 現在	2010 年 12 月 31 日 現在	2011 年 12 月 31 日 現在	2010 年 12 月 31 日 現在
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
英 RBB	127,845	121,590	33,956	35,274
ヨーロッパ RBB	51,310	53,609	17,436	17,269
アフリカ RBB	50,759	60,264	33,419	38,401
パークレイカード	33,838	30,324	34,186	31,913
パークレイズ・キャピタル	1,158,351	1,094,799	186,700	191,275
パークレイズ・コーポレート	88,674	85,735	69,712	70,796
パークレイズ・ウェルス	20,866	17,849	13,076	12,398
インベストメント・マネジメント	4,066	4,612	125	74
本社機能及びその他事業	27,818	20,863	2,389	631
合計	1,563,527	1,489,645	390,999	398,031

リスク別リスク調整後資産

	2011 年 12 月 31 日 現在	2010 年 12 月 31 日 現在
	百万ポンド	百万ポンド
信用リスク	245,224	260,998
カウンターパーティー・リスク		
- 内部モデル法	33,131	29,466
- 非モデル法	4,953	14,397
市場リスク		
- モデル - VaR	26,568	9,209
- モデル - 資本賦課及び非 VaR	17,560	3,769
- 標準	27,823	48,073
業務リスク	35,740	32,119
リスク調整後資産合計	390,999	398,031

資金調達リスク - 資本

- グループのリスク調整後資産は 2%減少して 3,910 億ポンドとなりました(2010 年:3,980 億ポンド)。その主因は以下のとおりです。
 - バーゼル 2.5 を盛り込んだ CRD3 の実施により 300 億ポンド増加しました。これは、主にモデルによる市場リスクの増加です。
 - 活動水準の低下とリスク削減により、パークレイズ・キャピタルの信用リスク、カウンターパーティー・リスク、市場リスク全般が 260 億ポンド減少しましたが、市場ストレスに関連する 40 億ポンドの増加により相殺されました。
 - ランド及びユーロの対ポンドでの下落をはじめとする為替変動により 110 億ポンド減少しました。
 - パークレイズ・キャピタルによる信用市場に対するエクスポージャーの売却により 90 億ポンド減少しました。
 - 事業の成長により 50 億ポンド増加しました。そのうち 20 億ポンドは、「プロジェクト・マーリン」の目標達成を反映した英 RBB とパークレイズ・コーポレートに関するものであり、30 億ポンドはパークレイカード買収によるものです。

貸借対照表のレバレッジ

	2011 年 12 月 31 日 現在	2010 年 12 月 31 日 現在
	百万ポンド	百万ポンド
資産合計 ¹	1,563,527	1,489,645
カウンターパーティー・ネットティング	(440,592)	(340,467)
デリバティブの担保	(51,124)	(37,289)
決済残高及び現金担保 - 純額	(61,913)	(48,108)
のれん及び無形資産	(7,846)	(8,697)
投資契約に基づき保有されている顧客の資産 ²	(1,681)	(1,947)
調整後有形資産合計	1,000,371	1,053,137
適格 Tier 1 資本総額	50,473	53,546
調整後グロス・レバレッジ	20	20
調整後グロス・レバレッジ(余剰流動性を除く)	17	17
株主資本に対する資産合計の比率	24	24
株主資本に対する資産合計の比率(余剰流動性を除く)	22	21

- パークレイズは、引き続き、貸借対照表利用の限度で、その使用目的に従い貸借対照表を管理しています。
- 調整後グロス・レバレッジは 20 倍でした(2010 年:20 倍)。適格 Tier 1 資本は 505 億ポンドに減少しましたが(2010 年:535 億ポンド)、調整後有形資産が 5%減少して 1 兆ポンドになったことにより相殺されました。
- 2011 年度の各月末の調整後グロス・レバレッジは 20 倍から 23 倍の間で変動しました。この変動は主に、担保付リバース・レボ貸付及び優良トレーディング・ポートフォリオ資産で生じました。
- 調整後有形資産合計は現金及び中央銀行預け金 1,069 億ポンド(2010 年 12 月 31 日:976 億ポンド)を含んでいます。それを除くと、バランスシートのレバレッジは 18 倍となります(2010 年:18 倍)。余剰流動性を除くと、レバレッジは 17 倍となります(2010 年:17 倍)。
- 株主資本に対する資産合計の比率は 24 倍(2010 年:24 倍)であり、各月末の同比率は 24 倍から 28 倍の範囲で変動し、それは、前述のトレーディング活動の変動に加えて総額ベースの金利デリバティブと決済残高の変動も影響しました。
- バーゼル III のガイドラインは、2013 年 1 月 1 日から各国の監督機関によって同時に導入予定のレバレッジ指標の案を含んでいます(Pillar 1 への移行は 2018 年までとされています)。現在の案の当社の解釈に基づく、2011 年 12 月 31 日現在のバーゼル III に基づく当グループのレバレッジ比率は、その上限案である 33 倍に収まっていることとなります。

¹ 余剰流動性 1,520 億ポンドを含む(2010 年:1,540 億ポンド)

² 公正価値で測定すると指定された金融資産及び関連する現金残高から構成されます

信用リスク

一部のユーロ圏諸国に対する当グループのエクスポージャー

- 当グループでは引き続きユーロ圏諸国に対するエクスポージャーを密接にモニターしています。2011 年には、スペイン、イタリア、ポルトガル、アイルランド及びギリシャに対する当グループのソブリン・エクスポージャーは 14%減少し、71 億ポンドとなりました。
 - スペインに対するソブリン・エクスポージャーは、金利ヘッジ目的及び流動性目的で保有していた売却可能国債を売却したため、45%減の 25 億ポンドとなりました。これらについては別のカウンターパーティーとの金利スワップで代替しています。
 - イタリアに対するソブリン・エクスポージャーは 57%増の 35 億ポンドとなりました。これは主として、利回りの改善を反映した国債の購入と財務部門の流動性管理ポートフォリオの一部としての保有によるものです。
 - ポルトガルに対するソブリン・エクスポージャーは、売却可能として保有する国債の減少を主因として、21%減の 8 億ポンドとなりました。
- ソブリン以外のイタリアに対するエクスポージャーは、11 億ポンド増の 219 億ポンドとなりました。これは主として、新規住宅ローン貸付(平均 LTV は 59.6%)の 22 億ポンドの増加が、金融機関に対するエクスポージャーの 9 億ポンドの減少と相殺されたためです。
- アイルランドに対するエクスポージャーは 5%増の 57 億ポンドとなりました。これは主に、金融機関向け貸付が増加して 43 億ポンドになったこと(2010 年 12 月 31 日現在:38 億ポンド)を反映しており、トレーディング資産 9 億ポンドのほか、アイルランドに所在するが主たる事業及びエクスポージャーがアイルランド国外である法人向けの貸付金 13 億ポンドが含まれます。アイルランド国内の銀行に対するエクスポージャーは、引き続き最小限にとどまりました。
- ギリシャに対するエクスポージャーは、引き続き最小限にとどまり、ソブリン・エクスポージャーの大半は損益を通じて日々ベースで時価評価されています。
- 市場が特に注目するこれら国々に加えて、当グループは、ベルギーに対し、純額で 24 億ポンド(2010 年:22 億ポンド)のエクスポージャーを有します。ベルギーは 2011 年第 4 四半期に AA に格下げされました。このエクスポージャーの主な内容はソブリン債で、うち 17 億ポンドは売却可能証券として保有され、その再評価差額がマイナス 2,600 万ポンドとなっているほか、3 億ポンドがトレーディング目的で保有されています。

作成基準

- 以下の表は、2011 年中間経営報告書と同一の基準で作成されたものであり、国別の信用リスクに対する貸借対照表上の直接のエクスポージャーの最大額を示しており、総額には該当する場合、減損引当金、ネットティング及び保有現金担保が反映されています。
- トレーディング及びデリバティブ残高:主に、国債ポジションのマーケットメーカーとしての投資銀行業務に関連するものです。これらのポジションは公正価値で保有されており、その変動は日々ベースで損益として認識されています。
- 売却可能資産:これらは主に国債及びその他の債券への投資であり、金利ヘッジ目的及び国内銀行業務における流動性目的で保有されています。その残高は公正価値で計上され、公正価値の変動は株主資本に計上されます。
- 貸付金(償却原価により評価): (i)主に住宅資産を担保とする個人向け貸付ポートフォリオ及び、(ii)主にスペイン、イタリア及びポルトガルにおいて確立された法人向け銀行業務と、多国籍企業及び大手国内企業を顧客とする投資銀行業務を反映する法人向け貸付ポートフォリオからなります。決済残高と現金担保はこの分析から除外されています。
- ソブリン・エクスポージャー:中央政府及び地方政府に対する直接的なエクスポージャー¹を反映し、その大部分は現地の取引に関連する金利リスクをヘッジするために使用されています。これらのポジションは金利スワップなどの国債以外の金融商品に積極的に置き換えられています。残りの部分は、顧客に対する主導的なプライマリーディーラー、マーケットメーカー、流動性プロバイダーとしての当グループの役割を反映して、積極的に管理されています。
- 金融機関及び法人向けエクスポージャー:カウンターパーティー(外国子会社を含み、クロスボーダー保証とは無関係)が事業を営んでいる国のエクスポージャーを反映しています。
- 個人向けエクスポージャー:個人顧客の居住国のエクスポージャーを反映しています。
- 当グループは、信用リスクを軽減する契約を締結しており、その参照資産は国債となっています。一部の諸国(原文 60~63 ページ)については、これらの諸国におけるカウンターパーティーとの信用リスク軽減契約のみが含まれています。ソブリン債務を参照するクレジット・デリバティブの分析は、デリバティブのカウンターパーティー・ネットティングを反映しており、カウンターパーティーの所在地にかかわらずすべてのクレジット・デリバティブを含みます。

¹ この他に、2011 年 12 月 31 日現在、当グループはこれら諸国の中央銀行に合計 8 億ポンドの現金を保有しています。その他の中央銀行における小額の残高は、金融機関向け貸付金に分類されています。

信用リスク

国別及びカウンターパーティー別エクスポージャー

2011年12月31日現在	スペイン	イタリア	ポルトガル	アイルランド	ギリシャ
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
ソブリン	2,530	3,493	810	244	14
金融機関	987	669	51	4,311	2
住宅ローン	14,654	15,934	3,651	94	5
法人	5,345	2,918	3,295	977	67
その他個人向け貸付	3,031	2,335	2,053	86	18
合計	26,547	25,349	9,860	5,712	106

2010年12月31日現在	スペイン	イタリア	ポルトガル	アイルランド	ギリシャ
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
ソブリン	4,641	2,224	1,023	296	31
金融機関	1,586	1,572	165	3,769	21
住宅ローン	15,977	13,741	3,476	109	4
法人	6,398	2,828	3,598	1,123	103
その他個人向け貸付	3,081	2,599	2,074	125	19
合計	31,683	22,964	10,336	5,422	178

欧州全体を含む他地域に対する貸付金のエクスポージャーは原文 47 ページに記載されています。

スペイン	トレーディング・ポートフォリオ			デリバティブ				損益を通じて 公正価値で 測定すると指 定されたもの	2011年 12月31 日現在の 合計	2010年 12月31 日現在の 合計
	トレーディ ング・ ポートフォ リオ資産	トレーディ ング・ ポートフォ リオ負債	正味トレー ディング・ ポートフォ リオ	資産総額	負債総額	現金担保	正味 デリバティブ			
損益を通じ た公正 価値	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
ソブリン	684	(684)	-	64	(64)	-	-	-	-	-
金融機関	367	(247)	120	7,359	(7,023)	(336)	-	101	221	422
法人	167	(155)	12	656	(251)	-	405	212	629	356

株主資本を通じた公正価値

2011年12月31日現在の売却可能資産

合計

	取得原価 ¹	売却可能資産再評価差額	合計	2010年 12月31 日現在の 合計
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
ソブリン	2,519	(51)	2,468	4,491
金融機関	507	(17)	490	669
法人	2	-	2	36

償却原価で保有

2011年12月31日現在の貸付金

合計

	総額	減損引当金	合計	2010年 12月31 日現在の 合計
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
ソブリン	62	-	62	150
金融機関	282	(6)	276	495
住宅ローン	14,729	(75)	14,654	15,977
法人	5,901	(1,187)	4,714	6,006
その他個人向け貸付	3,144	(113)	3,031	3,081

¹ 「取得原価」とは、認識時点における資産の公正価値から計上した減損額を控除した金額を指します。「売却可能資産再評価差額」とは、資産に係る公正価値の累積損益で、株主資本として保有されています。「合計」とは、貸借対照表日における資産の公正価値です。

信用リスク

イタリア	トレーディング・ポートフォリオ			デリバティブ				損益を通じて 公正価値で 測定すると指 定されたもの	2011年 12月31 日現在の 合計	2010年 12月31 日現在の 合計
	トレーディング・ ポートフォ リオ資産	トレーディング・ ポートフォ リオ負債	正味トレー ディング・ ポートフォ リオ	資産総額	負債総額	現金担保	正味 デリバティブ			
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド			
ソブリン	2,097	(1,531)	566	1,083	(506)	-	577	1	1,144	1,004
金融機関	429	(142)	287	6,224	(4,791)	(1,319)	114	55	456	794
法人	134	(134)	-	502	(325)	(92)	85	86	171	93

株主資本を通じた公正価値

	2011年12月31日現在の売却可能資産			合計
	取得原価 ¹	売却可能資産再評価差額	合計	
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	
ソブリン	2,457	(123)	2,334	1,220
金融機関	141	(3)	138	226
法人	28	(1)	27	19

償却原価で保有

	2011年12月31日現在の貸付金			合計
	総額	減損引当金	合計	
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	
ソブリン	15	-	15	-
金融機関	83	(8)	75	552
住宅ローン	16,023	(89)	15,934	13,741
法人	2,850	(130)	2,720	2,716
その他個人向け貸付	2,515	(180)	2,335	2,599

ポルトガル

ポルトガル	トレーディング・ポートフォリオ			デリバティブ				損益を通じて 公正価値で 測定すると指 定されたもの	2011年 12月31 日現在の 合計	2010年 12月31 日現在の 合計
	トレーディング・ ポートフォ リオ資産	トレーディング・ ポートフォ リオ負債	正味トレー ディング・ ポートフォ リオ	資産総額	負債総額	現金担保	正味 デリバティブ			
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド			
ソブリン	143	(76)	67	216	(216)	-	-	2	69	121
金融機関	24	(13)	11	336	(336)	-	-	-	11	106
法人	129	(21)	108	445	(223)	(2)	220	-	328	63

株主資本を通じた公正価値

	2011年12月31日現在の売却可能資産			合計
	取得原価 ¹	売却可能資産再評価差額	合計	
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	
ソブリン	875	(159)	716	886
金融機関	2	-	2	9
法人	675	2	677	896

償却原価で保有

	2011年12月31日現在の貸付金			合計
	総額	減損引当金	合計	
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	
ソブリン	25	-	25	16
金融機関	38	-	38	50
住宅ローン	3,665	(14)	3,651	3,476
法人	2,484	(194)	2,290	2,639
その他個人向け貸付	2,252	(199)	2,053	2,074

¹ 「取得原価」とは、認識時点における資産の公正価値から計上した減損を控除した金額を指します。「売却可能資産再評価差額」とは、資産に係る公正価値の積的損益で、株主資本として保有されています。「合計」とは、貸借対照表日における資産の公正価値です。

信用リスク

アイルランド	トレーディング・ポートフォリオ			デリバティブ				損益を通じて 公正価値で 測定すると指 定されたもの	2011年 12月31 日現在の 合計	2010年 12月31 日現在の 合計	
	損益を通じ た公正 価値	トレーディ ング・ ポートフォ リオ資産	トレーディ ング・ ポートフォ リオ負債	正味トレー ディング・ ポートフォ リオ	資産総額	負債総額	現金担保				正味 デリバティブ
		百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド				百万ポンド
ソブリン	98	(64)	34	45	(4)	(36)	5	-	39	59	
金融機関	1,416	(39)	1,377	5,889	(3,909)	(1,846)	134	50	1,561	1,149	
法人	73	(30)	43	658	(658)	-	-	9	52	164	

株主資本を通じた公正価値

	2011年12月31日現在の売却可能資産			合計 2010年 12月31 日現在
	取得原価 ¹	売却可能資産再評価差額	合計	
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	
ソブリン	215	(10)	205	237
金融機関	274	(25)	249	584

償却原価で保有

	2011年12月31日現在の貸付金			合計 2010年 12月31 日現在
	総額	減損引当金	合計	
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	
金融機関	2,651	(150)	2,501	2,036
住宅ローン	104	(10)	94	109
法人	946	(21)	925	959
その他個人向け貸付	86	-	86	125

ギリシャ

	トレーディング・ポートフォリオ			デリバティブ				損益を通じて 公正価値で 測定すると指 定されたもの	2011年 12月31 日現在の 合計	2010年 12月31 日現在の 合計	
	損益を通じ た公正 価値	トレーディ ング・ ポートフォ リオ資産	トレーディ ング・ ポートフォ リオ負債	正味トレー ディング・ ポートフォ リオ	資産総額	負債総額	現金担保				正味 デリバティブ
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド				百万ポンド
ソブリン	7	-	7	1	-	-	1	-	8	15	
金融機関	2	-	2	1,109	(253)	(856)	-	-	2	21	
法人	3	-	3	-	-	-	-	-	3	7	

株主資本を通じた公正価値

	2011年12月31日現在の売却可能資産			合計 2010年 12月31 日現在
	取得原価 ¹	売却可能資産再評価差額	合計	
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	
ソブリン	6	-	6	16

償却原価で保有

	2011年12月31日現在の貸付金			合計 2010年 12月31 日現在
	総額	減損引当金	合計	
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	
住宅ローン	5	-	5	4
法人	64	-	64	96
その他個人向け貸付	27	(9)	18	19

¹ 「取得原価」とは、認識時点における資産の公正価値から計上した減損を控除した金額を指します。「売却可能資産再評価差額」とは、資産に係る公正価値の累積損益で株主資本として保有されています。「合計」とは、貸借対照表日における資産の公正価値です。

信用リスク

ソブリン債を参照するクレジット・デリバティブ

- 当グループは、主にリスク管理を目的として信用リスクを軽減する契約（主にクレジット・デフォルト・スワップ及びトータル・リターン・スワップ）を締結しており、その参照資産は国債となっています。
- これらの契約には、国がデフォルトした場合に当グループのエクスポージャー総額を減少させる効果があります。

2011年12月31日現在	スペイン	イタリア	ポルトガル	アイルランド	ギリシャ
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
公正価値					
- 買建	326	681	346	170	669
- 売建	(324)	(583)	(322)	(170)	(729)
正味デリバティブ公正価値	2	98	24	-	(60)
契約の想定元本額¹					
- 買建	(2,924)	(4,742)	(1,027)	(854)	(1,019)
- 売建	2,765	4,270	977	805	1,098
正味デリバティブ想定元本額	(159)	(472)	(50)	(49)	79
国がデフォルトした場合のクレジット・デリバティブの影響 (想定元本額からプロテクションの公正価値を控除)	(157)	(374)	(26)	(49)	19

- クレジット・デリバティブは、資産（参照資産）のデフォルト・リスクをプロテクションの買い手から売り手に移転させる取引です。
- ソブリン資産を参照するクレジット・デリバティブの大半の売買は、顧客の取引を支援するためか、リスク管理のために行われています。
- 契約の想定元本額は付保の対象となる参照資産の価値を表しており、公正価値はプロテクションを提供するカウンターパーティーの信用度に応じて調整した参照資産の価値の変動を表しています。
- 正味デリバティブ想定元本額はエクスポージャーの減少を表すものであり、前の数ページにわたって開示した直接的なエクスポージャーとともに考慮する必要があります。
- さらに、当グループは一部の貯蓄商品及び投資ファンドに対する保証を通じて、間接的にソブリン・エクスポージャーを有しています。これらの貯蓄商品や投資ファンドの資産の一部がソブリン債であるためです。これらの保証に関する 2011 年 12 月 31 日現在の正味債務残高は 4,100 万ポンドです。

¹ 総裁について法的強制力のある権利が備わっている場合は、カウンターパーティー・ネットtingを反映しています。

信用リスク

パークレイズ・キャピタルの信用市場に対するエクスポージャー

信用市場に対するエクスポージャー ¹	2011年12月31日に終了した年度						
	2011年	2010年	2011年	2010年	公正価値 利益/(損失) 及び資金調達 純額		2011年12月
	12月31 日現在 百万ドル	12月31 日現在 百万ドル	12月31 日現在 百万ポンド	12月31 日現在 百万ポンド	減損(繰入)/ 戻入 百万ポンド		31日現在 百万ポンド
プロティアム社資産 ²	3,508	10,884	2,272	7,028	(555)	223	(332)
米国の住宅モーゲージ							
ABS CDO スーパーシニア	2,844	3,085	1,842	1,992	(29)	(6)	(35)
米国サブプライム及びAlt-A	644	1,025	416	662	(4)	35	31
商業用モーゲージ							
商業用不動産ローン及び不動産	8,228	11,006	5,329	7,106	486	-	486
CMBS	156	184	101	119	-	-	-
モノライン保険会社保証付 CMBS	14	18	9	12	32	-	32
その他の信用市場							
レバレッジド・ファイナンス ³	6,278	7,636	4,066	4,930	43	(203)	(160)
SIV、SIV-Lite 及び CDPC	9	618	6	399	(32)	-	(32)
モノライン保険会社保証付 CLO 及びその他	1,729	2,541	1,120	1,641	(13)	-	(13)
合計	23,410	36,997	15,161	23,889	(72)	49	(23)

- パークレイズ・キャピタルの信用市場に対するエクスポージャーは主に商業用不動産、レバレッジド・ファイナンス、及び以前にプロティアム社への貸付金に付された担保に関連しています。これらのエクスポージャーは、2007年半ばの市場混乱より前に発生したものです。
- 2011年において、信用市場に対するエクスポージャーは87億2,800万ポンド減少して151億6,100万ポンドとなりました。減少の内訳は、純売却額、一部償還及びその他の変動によるものが84億4,200万ポンド、為替レートの変動によるものが2億6,300万ポンドで、公正価値の損失と減損が2,300万ポンドです。純売却額、一部償還及びその他の変動84億4,200万ポンドには以下が含まれています。
 - 以前にプロティアム・ファイナンス LP に対する貸付金の担保とされていた資産に関連する42億1,800万ポンド。この内訳は、純売却額26億9,700万ポンド、貸付金及び利息の返済9億5,900万ポンド、一部償還及びその他の変動5億6,200万ポンドとなっています。
 - 商業用不動産ローンと不動産の売却、及び一部償還による21億4,100万ポンド
 - 主としてカウンターパーティー5社に関係する8億2,000万ポンドのレバレッジド・ローンの減少
- パークレイズは、2012年1月に公正価値で4億500万ポンド(6億2,800万ドル)の商業用不動産持分証券の売却を完了しました。これはアーチストーン社に対する持分の50%に相当するものです。

1 エクスポージャーの大部分は米ドル建てで保有しているため、上表には米ドル建て及び英ポンド建ての両方で記載しています。

2 プロティアム社が当グループに買収された2011年4月27日以前は、このエクスポージャーは貸付金となっていました。この貸付金は、2010年12月31日以降、裏付けとなる担保の公正価値に相当する額で計上されています。

3 1億8,000万ポンドの未実行与信枠を含みます(2010年12月31日現在:2億6,400万ポンド)。

信用リスク

プロティアム社資産

	取得日			取得日		
	2011年12月 31日現在	2011年4月 27日現在	2010年12月 31日現在	2011年12月 31日現在	2011年4月 27日現在	2010年12月 31日現在
	百万ドル	百万ドル	百万ドル	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
米国サブプライム及び Alt-A	1,490	4,406	4,402	965	2,665	2,710
CMBS	1,422	3,092	3,257	921	1,870	2,103
モノライン保険会社保証	-	-	225	-	-	145
CLO 及びその他の資産	596	1,952	1,636	386	1,181	1,189
担保合計	3,508	9,450	9,520	2,272	5,716	6,147
現金及び現金同等物	na	231	1,364	na	140	881
資産合計	3,508	9,681	10,884	2,272	5,856	7,028
プロティアム社への貸付金	-	-	10,884	-	-	7,028

- 2009年9月16日にパークレイズ・キャピタルは、信用市場資産 83 億 8,400 万ドルを含む 122 億 8,500 万ドルの資産をプロティアム・ファイナンス LP(プロティアム社)に売却しました。当取引の一環として、パークレイズは 126 億 4,100 万ドル(期間 10 年)の貸付をプロティアム社に対して実施しました。
- 2011年4月、パークレイズは、基礎となるエクスポージャーを早期に解消するために、プロティアム社に対する第三者持分すべてを取得する複数の契約を締結しました。その結果、プロティアム社は当グループの連結対象となりました。その後、プロティアム社は資産をパークレイズの傘下企業に売却し、貸付金は返済されました。
- 当取引の一環として、4 億 5,900 万ポンド(7 億 5,000 万ドル)がハリックスに投資されました。ハリックスは、プロティアム社の投資運用会社が運用する既存ファンドです。この投資はハリックス・ファンドの 86%に相当し、同ファンドは当グループに連結されています。このファンドの投資は主として国債と政府機関債で構成されています。パークレイズの同ファンドへの投資の公正価値は、2011年12月31日現在、7 億 2,900 万ドルでした。

市場リスク

パークレイズ・キャピタルの市場リスクに対するエクスポージャーの分析

- パークレイズ・キャピタルの規制に対応した市場リスク・モデルは、CRD3 向けに最近導入したモデルを含んでおり、指定されたトレーディング勘定ポートフォリオについて規制資本を算出するために使用され、英国金融サービス機構(FSA)による検査を受けています。主要な4種類のモデルは、日次バリュー・アット・リスク(DVaR)、ストレッド・バリュー・アット・リスク、増分リスク・チャージ及びオール・プライス・リスク測定です。
- パークレイズ・キャピタルの DVaR モデルは、FSA の規定する「グリーン」に評価されており、良好に機能するモデルとして認められています。この評価は1年を通して維持されました。
- 社内リスク管理の目的では、トレーディング勘定と一部の銀行勘定を対象に信頼水準を95%として DVaR を算出しています。この算出は、直近2年間のデータによる実績シミュレーションに基づきます。

DVaR (95%)	2011年12月31日に終了した年度			2010年12月31日に終了した年度		
	日次平均	最大 ¹	最少 ¹	日次平均	最大 ¹	最少 ¹
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
金利リスク	17	47	7	33	50	21
スプレッド・リスク	45	69	25	48	62	30
コモディティ・リスク	12	18	7	16	25	9
株式リスク	18	34	9	14	29	6
為替リスク	5	8	2	6	15	2
分散効果	(40)	na	na	(64)	na	na
DVaR 合計	57	88	33	53	75	36
期待ショートフォール²	71	113	43	78	147	47
3W³	121	202	67	144	311	72

- パークレイズ・キャピタルの2011年中の平均 DVaR 合計額は5,700万ポンドであり、2010年比で8%増加しました。しかし、平均期待ショートフォールと3Wの測定で示されるテール・リスクはそれぞれ9%減の7,100万ポンドと16%減の1億2,100万ポンドとなりました。
- 欧州債務危機の悪化に伴って資産間の相関が上昇したため、2011年の分散効果は38%減少し平均4,000万ポンドになりました。
- DVaRに影響を与えた主要な3種類のリスク要因は、スプレッドと金利、株式リスクでした。2010年の水準に比べて、スプレッドの平均 DVaR は300万ポンド(6%)減少し、金利の DVaR は1,600万ポンド(48%)減少しました。これは、慎重なポジショニングを反映したものです。グローバルな株式事業と商品の提供が伸び続けたことから、株式 DVaR は400万ポンド(29%)増加しました。

1 各カテゴリーで報告された最大DVaRと最小DVaRの数値は、全体として報告された最大DVaR、最小DVaRと必ずしも同一の日に生じたわけではありません。したがって、最大DVaRと最小DVaRに対する分散効果も意味がないと思われ、上掲の表からは省略しています。

2 信頼水準95%のDVaRを上回る1日の仮想損失合計の平均値。

3 1日の見積損失で最大のもの3件の平均値。